

「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」の解説

1 梅雨明けの発表

沖縄地方は、7月2日ごろに梅雨明けしたと見られることから、沖縄気象台は本日11時00分に「梅雨の時期に関する沖縄地方気象情報 第2号」を発表しました。

2 今年の「梅雨明け」は7月2日ごろ(階級:かなり遅い)

平年より11日遅く、昨年より20日遅い

(1) 平年は6月21日ごろ

(2) 昨年(令和2年)は6月12日ごろ

(3) 1951年(昭和26年)からの統計

ア 最も早い梅雨明けは2015年(平成27年)の6月8日ごろ

イ 最も遅い梅雨明けは2019年(令和元年)の7月10日ごろ

【参考】梅雨明けの平年及び階級

	平年	かなり早い	早い	平年並	遅い	かなり遅い
梅雨明け	6/21ごろ	～6/10ごろ	6/11ごろ ～6/20ごろ	6/21ごろ ～6/23ごろ	6/24ごろ ～6/29ごろ	6/30ごろ～

(統計期間 1991～2020年)

注)梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間がある。

3 今年の梅雨期間(5月5日～7月1日)の降水量(速報値)、平年値及び平年比

官署名	実況値(ミリ)	平年値(ミリ)	平年比(%)
那 覇	1058.0	512.6	206
名 護	858.5	490.6	175
久 米 島	945.0	553.2	171
南大東島	641.0	409.1	157
宮 古 島	311.5	402.2	77
石 垣 島	316.0	387.5	82
西 表 島	472.5	346.6	136
与那国島	644.0	351.7	183

4 今年の梅雨期間(5月5日～7月1日)の日照時間(速報値)、平年値及び平年比

官署名	実況値(時間)	平年値(時間)	平年比(%)
那 覇	234.5	287.6	82
名 護	203.8	280.0	73
久 米 島	223.4	286.1	78
南大東島	319.7	375.7	85
宮 古 島	327.8	331.1	99
石 垣 島	402.2	364.5	110
西 表 島	399.0	357.1	112
与那国島	383.2	317.2	121

5 今年の梅雨の特徴

沖縄地方は、5月5日ごろ(平年より5日早い)に梅雨入りしたと見られ、7月2日ごろ(平年より11日遅い)に梅雨明けしたと見られます。7月2日ごろの梅雨明けは、統計を始めた1951年以降6番目の遅さとなります。5月5日から7月1日の期間降水量は、那覇で1058.0ミリ(平年比206%)を観測するなど、沖縄本島地方と大東島地方の多くの観測点で降水量平年比は150%以上となりました。また、沖縄本島地方と大東島地方の日照時間は、平年を下回りました。一方、先島諸島では同期間の降水量が平年を上回った地点もありましたが、過半数の地点では平年を下回りました。この期間の先島諸島の日照時間は、平年比の99~121%でした。

5月の沖縄地方は、高気圧に覆われて晴れる日もありましたが、梅雨前線や湿った空気などの影響で曇りや雨の日があり、下旬には大雨となったところがありました。

6月の沖縄地方は、台風第3号や梅雨前線、湿った空気の影響により曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となったところがありました。特に沖縄本島地方では、15日と29日には線状降水帯の発生などにより、記録的な大雨となり、15日には渡嘉敷で206.0ミリ、29日には名護で238.0ミリなど、複数の地点で日降水量の6月の1位を更新しました。また、沖縄本島地方と与那国島地方の複数の地点で6月の月降水量の多い方からの1位を更新しました。

注) 梅雨の時期に関する気象情報は、現在(本日)までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表したものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日に変更となる場合があります。